

## 干渉

助教授 濱本 正太郎  
shotaro@kobe-u.ac.jp

問 以下の事実に現れているアフリカ連合・西アフリカ諸国経済共同体・ヨーロッパ連合の対応は、国際法上違法な干渉にあたるか。

\*\*\*\*\*

朝日新聞 2005 年 2 月 7 日朝刊 4 頁

トーゴ大統領が死去 アフリカ最長在任 38 年 世襲巡り、混迷か

【ナイロビ = 望月洋嗣】西アフリカ・トーゴからの報道によると、同国のニヤシンベ・エヤデマ大統領 ( 67 ) が 5 日朝、死亡した。AFP 通信によると、同大統領は病気の緊急治療のため、飛行機でフランスに向かう途中だったという。軍指導部は同日夜、エヤデマ氏の息子フォール氏 ( 39 ) に権力が移譲されたと発表した。トーゴも加盟するアフリカ連合 ( AU ) は世襲を認めない方針を表明している。

憲法の規定では大統領死亡の場合、国会議長が選挙までの間、暫定大統領を務めることになっている。だが、ワタラ議長が国内にいないため、軍はフォール氏への移譲を権力の空白による混乱を避けるための措置としている。

ワタラ議長は訪問先のフランスから帰国を試みたが、トーゴの国境が軍により閉鎖されていたため隣国ベニンの空港に到着した。AU のコナレ委員長は「軍部によるクーデターだ」と非難した。

エヤデマ氏は 67 年のクーデターで陸軍参謀長から大統領に就任。在任期間はアフリカで最長の 38 年に及んだ。03 年の選挙には大統領の 3 選を禁じた憲法を改正して出馬し、当選を果たした。99 年にシエラレオネ内戦の和平合意を仲介。コートジボワール内戦でも停戦調停に尽力した。89 年、大喪の礼参列などのため日本を訪れ、天皇陛下とも会見した。

朝日新聞 2005 年 2 月 19 日朝刊 6 頁

アフリカ連合、無力 非難・圧力、無視され トーゴ大統領「世襲」

【ヨハネスブルク = 望月洋嗣】西アフリカ・トーゴのエヤデマ大統領死去を受け、軍部に後押しされた長男のフォール・ニヤシンベ氏 ( 39 ) が、憲法に規定された選挙を実施せずに大統領職を「世襲」した問題で、アフリカ諸国や欧州各国は正規の手続きをとるよう圧力をかけているが、無視されてかえって無力をさらけ出している。17 日には、今回の事態を

「軍部のクーデター」と非難するアフリカ連合（AU）議長のオバサンジョ・ナイジェリア大統領がニヤシンベ氏と会談したが、具体的な進展はなかった。

今月5日のエヤデマ氏死去後、与党トーゴ人民連合（RPT）が圧倒的多数を占める国会は、軍部に支持されたニヤシンベ氏を議長に選出し、「大統領の死後、60日以内に選挙を実施する」とした憲法の規定も削除。選挙を経ずにニヤシンベ氏を後継大統領とした。

一連の動きに対し、国際社会は「軍部によるクーデターだ」（AU）「改正前の憲法を順守すべきだ」（欧州連合）などと強く非難。ニヤシンベ氏を大統領と認めず、改正前の憲法に従って選挙を実施するよう求めてきた。また、トーゴなど15カ国が加盟する西アフリカ諸国経済共同体（ECOWAS）は60日以内に選挙が実施されない場合、経済制裁を科すと表明している。国内でも野党や市民が強く反発し、抗議デモによる騒乱で市民3人が死亡した。

AFP通信によると、17日にナイジェリアの首都アブジャで行われたオバサンジョ大統領との会談でニヤシンベ氏は一連の措置は国内の混乱を避けるためだった、などと釈明。オバサンジョ氏は、改正前の憲法に沿った公正な大統領選の実施を強く求めたが、ニヤシンベ氏から前向きな回答は得られなかったという。

朝日新聞 2005年2月20日朝刊4頁

トーゴ大統領選、実施の意向表明 「世襲」の長男が態度を一転

【ヨハネスブルク＝望月洋嗣】西アフリカ・トーゴのエヤデマ大統領死去を受け、大統領職を「世襲」した長男のフォール・ニヤシンベ氏（39）は18日深夜（日本時間19日早朝）、60日以内に大統領選挙を実施する意向を表明した。自国も加盟する西アフリカ諸国経済共同体（ECOWAS、15カ国）の経済制裁をおそれ、態度を一転させたとみられる。

これに対し、ナイジェリアのオバサンジョ大統領は19日、同国を訪問しているトーゴ代表団に対し「選挙は認められない。全面的な制裁をすぐにも実施する」と警告した。

朝日新聞 2005年2月27日朝刊4頁

トーゴの「世襲」大統領が辞任 非難かわし再任狙う

西アフリカ・トーゴからの報道によると、大統領職を「世襲」して国際社会から強く非難された同国のフォール・ニヤシンベ氏（39）が25日深夜、辞任した。「数週間後の大統領選挙の透明性と公平性を保証するため」としている。

国会で圧倒的多数を占める与党「トーゴ人民連合（RPT）」は同日、ニヤシンベ氏を大統領選の同党候補に選出。国際社会の批判をかわし、大統領選での返り咲きをねらうとみられる。4月に予定される選挙までは、与党議員アッバス・ボンフォー氏が大統領職を代行する。